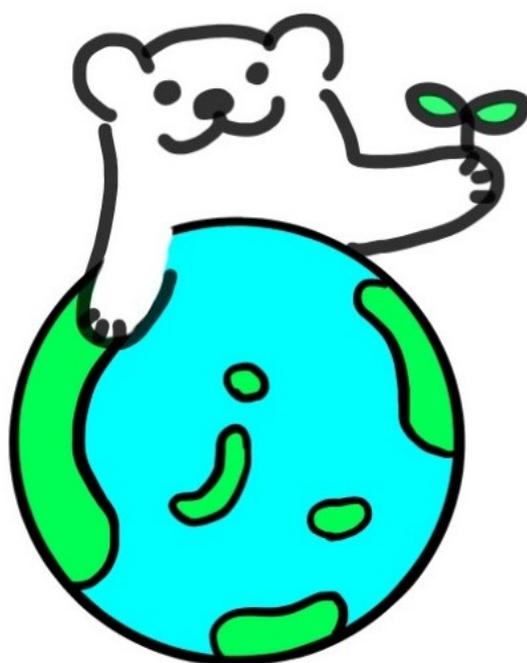


環境経営レポート

2023年版

<2023年9月1日～2024年8月31日>



日信商工株式会社

2025年2月7日発行



エコアクション21[®]

認証番号0012660

目次

1. 会社概要	3
2. 環境経営方針	4
3. 推進体制	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7~9
6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容	10~13
7. 環境関連法規制の遵守状況	14
8. 安全活動	15
9. その他環境活動	15~16
10. 代表者による全体の評価と見直し	17

1. 会社概要

■ 概要

- (1) 社名
日信商工株式会社（英文表記：NISCO CO.,LTD）
- (2) 所在地（本社・工場）
〒335-0032
埼玉県戸田市美女木東2-2-2
- (3) 代表者
代表取締役社長 関口 良平
- (4) 設立
1967年11月
- (5) 資本金
1,000万円
- (6) 事業規模
売上高：1433百万円（2023年9月～2024年8月）
従業員数：本社34人 熊本事業所9人 NISCO熊本16人
（2024年8月31日時点）
床面積：本社404㎡ 熊本事業所131㎡ NISCO熊本627㎡
- (7) 事業内容
半導体製造装置機器部品及び関連装置機器の開発設計と製造販売
クリーンルーム内設備機器の開発設計と製造販売
テフロン等フッ素樹脂、その他樹脂溶接・加工
タンク、槽、容器、器具類の開発設計と製造販売
耐薬品用ポンプ、耐薬品制御用バルブの開発設計と製造販売
ガススクラバー開発設計と製造販売
- (8) 環境管理責任者及び担当者
責任者：横塚 雅人
連絡先：TEL 048-421-1234
FAX 048-422-0175
URL <http://www.nissin-nisco.co.jp>

■ 沿革

- 1967年11月 東京都板橋区にて日信商工株式会社設立
埼玉県戸田市に営業所及び工場を建設し
半導体製造装置機器部品の開発設計と製造販売を開始
- 1977年9月 第2工場を建設
- 1986年11月 現在地の戸田市美女木工業地区に新工場建設・移転
- 1987年4月 上記同地に本社・営業機能を移転
- 1988年3月 台湾国策による半導体製造工場建設へ参画
- 2014年2月 クラス1000クリーンルームを設置、運用を開始
- 2016年3月 島津製オートグラフを導入、運用を開始
- 2021年4月 本社工場において再生可能エネルギー100%電力の使用を開始
- 2022年4月 新工場「NISCO熊本」稼働開始
クラス1000クリーンルーム完備

2. 環境経営方針

『地球人としての取組み』

当社は、樹脂製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとして捉え、次の行動指針を定めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 化学物質使用量の削減及び適切な管理
- ③ 廃棄物の削減および再資源化の推進
- ④ 排水量の削減
- ⑤ グリーン購入の推進
- ⑥ 提供する製品・サービスにおける環境配慮
- ⑦ 事業活動に伴う環境関連法規の遵守
- ⑧ 環境に配慮した新規事業の創出
- ⑨ 地域環境を良くするための活動の実施

先に定めた指針の中で①～⑦は定常活動であり、環境保全に関するより一層の共有知識化を推進します。活動実績が数値上のみで推移している現状、各グループによる活動のプレゼンテーションや新たな取組みに対し、表彰制度の導入等、活動実績を明確にして行きます。

また、⑧の環境配慮型新規事業の創出を具現化出来る様に、新たに推進室を設定します。



制定日：2017年10月1日

改訂日：2020年8月30日

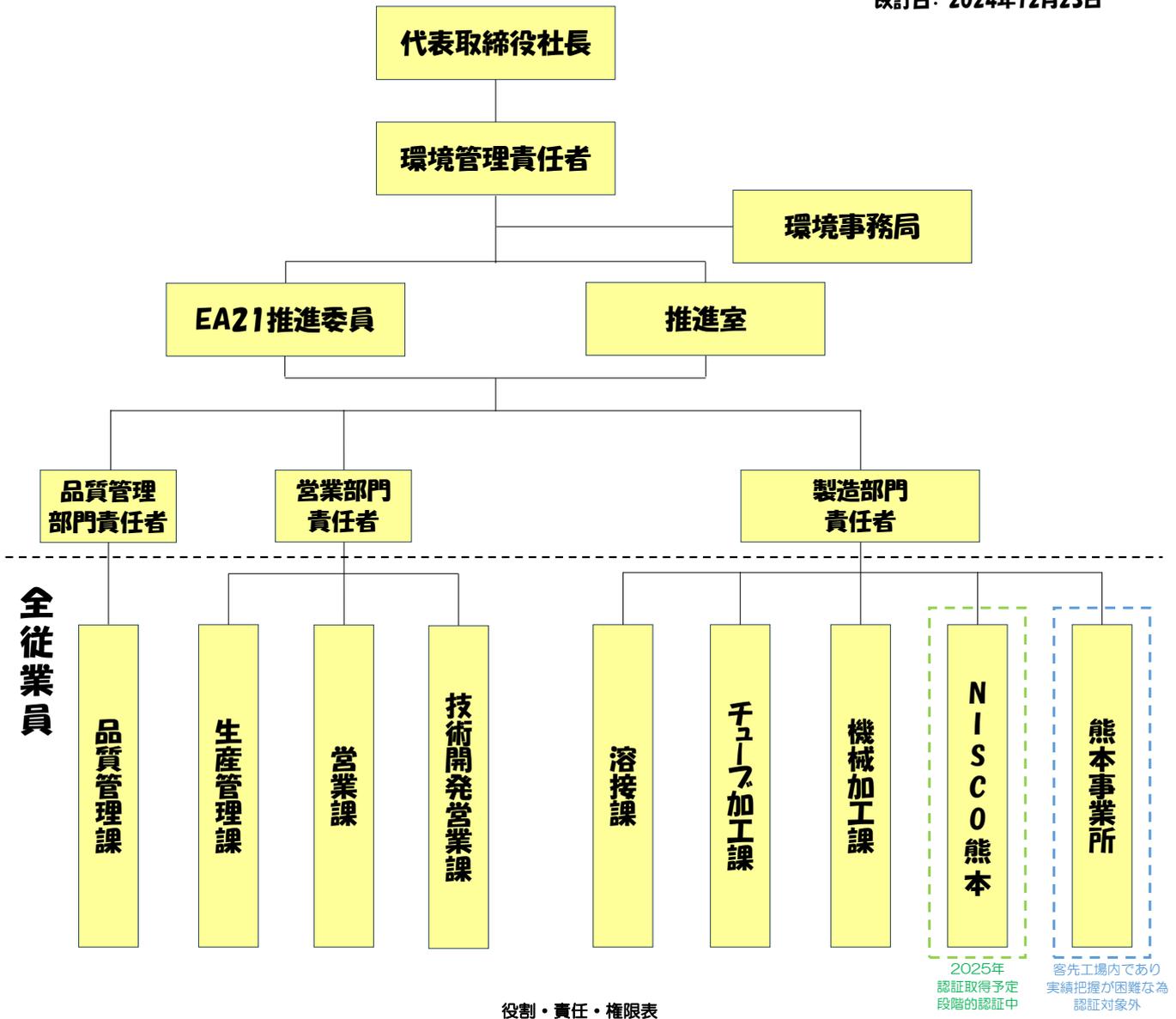
日信商工株式会社

代表取締役社長 関口 良平

3. 実施体制

作成日: 2017年9月20日

改訂日: 2024年12月23日



役割・責任・権限表

対象者	役割・責任・権限
代表者（社長）	環境方針を策定し、従業員へ周知する。 EA21の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意する。 EA21の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。 是正・予防処置発生時のフォロー、並びに指示を行う。 環境管理責任者の任命を行う。 環境目標・環境活動計画書の承認を行う。 環境活動レポートの承認を行う。
環境管理責任者	エコアクション21活動全般の運用状況を確認する。 エコアクション21の実施記録を経営者に報告する。 環境活動レポートの公表を行う。
環境事務局	環境管理責任者の補佐を行う。 各種環境関連文書の記録の管理をする。 EA21推進委員会を開催する。 環境活動レポートの作成を行う。 EA21推進委員会の取りまとめを行う。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連法規の遵守評価を行い、該当項目に関しては報告、及び届け出を行う。 環境活動の実績集計の取りまとめを行う。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口となる。

対象者	役割・責任・権限
EA21推進委員	環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施をする。 環境目標、環境活動計画書原案を作成する。 原則として一ヶ月に一回委員会を開催し実施状況の確認と必要な措置を検討する。 全体的な見直しのために必要なデータを集計する。
推進室	環境に配慮した新規事業創出における取りまとめを行う。 環境に配慮した新規事業創出のための調査、検討、計画を行う。 環境に配慮した新規事業の周知を行う。
部門責任者	環境活動計画の実施及び達成状況を環境管理責任者に報告を行う。 環境方針の周知を行う。 必要に応じ手順書作成及び運用管理を行う。 問題点の発見、是正、予防処置を実施する。 自部門の一般社員に対する環境教育を推進する。
全従業員	環境方針の理解と環境目標、及び取り組みの重要性を自覚する。 決定事項は遵守して、積極的に環境活動に参加する。 取り組みの実施状況を、各担当項目のEA21推進委員に報告する。 担当項目以外の環境保全活動への協力をする。

2025年
認証取得予定
段階的認証中

客先工場内であり
実績把握が困難な為
認証対象外

4. 環境経営目標

各年度の環境負荷の実績を基準として、全社の2023年度～2027年度までの環境目標を次のように設定した。

	環境目標	単位	基準年度実績	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
CO2排出量	CO2排出量	(kg-CO2)	103,552	89,676	84,291	78,907	73,418	68,034
			本社2017年度比⇒ NISCO2022年度比 ※1	△13.4%削減	△18.6%削減	△23.8%削減	△29.1%削減	△34.3%削減
	(kg-CO2)/百万円	105.43	91.30	85.82	80.34	74.75	69.27	
		本社 2017年度比⇒ NISCO 2022年度比 ※1	△13.4%削減	△18.6%削減	△23.8%削減	△29.1%削減	△34.3%削減	
	電力	(kWh)/百万円	174.4	171.9	170.5	169.1	167.7	166.3
			本社 2021年度比⇒ NISCO 2022年度比	△1.44%削減	△2.27%削減	△3.11%削減	△3.97%削減	△4.86%削減
車両燃料	(ℓ)/百万円	1.64	1.55	1.54	1.52	1.51	1.49	
		本社 2017年度比⇒ NISCO 2022年度比	△5.52%削減	△6.56%削減	△7.63%削減	△8.72%削減	△9.83%削減	
LPG	(kg)	419.6	415.4	411.2	407.0	402.8	398.6	
		本社 2020年度比⇒	△1%削減	△2%削減	△3%削減	△4%削減	△5%削減	
廃棄物	事業系一般廃棄物	(kg)/百万円	3.72	3.56	3.53	3.49	3.46	3.42
			本社 2018年度比⇒ NISCO 2022年度比	△4.29%削減	△5.21%削減	△6.13%削減	△7.05%削減	△7.97%削減
	産業廃棄物	(kg)/百万円	12.90	12.28	12.15	12.02	11.90	11.77
本社 2018年度比⇒ NISCO 2022年度比			△4.83%削減	△5.81%削減	△6.79%削減	△7.77%削減	△8.75%削減	
再資源化	%	7.64	9.64 以上	11.64 以上	13.64 以上	15.64 以上	17.64 以上	
		本社 2018年度比⇒ NISCO 2022年度比	+2%	+4%	+6%	+8%	+10%	
水	上水使用量	m ³	500.0	実績把握とする	472.9	468.5	464.2	459.8
			本社 2017年度比⇒ NISCO 2023年度比		△5.41%削減	△6.29%削減	△7.17%削減	△8.05%削減
グリーン購入率	%	22	36% 以上	38% 以上	40% 以上	42% 以上	45% 以上	
		本社 2017年度比⇒	165%増	175%増	185%増	195%増	205%増	
製品サービスの環境配慮 (梱包資材の削減)	(¥)/百万円	1,151	1,082	1,070	1,059	1,047	1,036	
		本社 2017年度比⇒	△6%削減	△7%削減	△8%削減	△9%削減	△10%削減	
化学物質の適正管理	(回)		化学物質による事故ゼロ	化学物質による事故ゼロ	化学物質による事故ゼロ	化学物質による事故ゼロ	化学物質による事故ゼロ	
多能工技術者の育成	(人)		多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	多能工技術者 1人	

日信商工株式会社では、二酸化炭素排出量の目標を下記に設定する
「2030年に排出量を50%削減。2050年に排出量を実質ゼロ。」

事業系一般廃棄物および産業廃棄物の数値目標、評価については最終処分が（埋立）の数値を対象としており、最終処分が（再資源化）の数値は再資源化の数値として使用している。
 本社 基準年：二酸化炭素排出係数：0.474kg-CO2/kWh（調整後排出係数）※平成28年度実績 公表：平成29年12月21日 東京電力Iパートナー(株)
 2021年4月より再生可能エネルギー使用開始
 2022年12月より：二酸化炭素排出係数：0kg-CO2/kWh（調整後排出係数）※令和4年度実績 公表：令和5年12月22日 (株)アイ・ケリット・リユニオンズ
 NISCO熊本 基準年：二酸化炭素排出係数：0.475kg-CO2/kWh（調整後排出係数）※令和4年度実績 公表：令和5年12月22日 九州電力(株)
 ※1 本社の数値でLPGは2020年度の数値を使用。

5. 環境経営計画 本社 (1/2)

		活動内容	
二酸化炭素排出削減に関するもの	電力使用量の削減	2ヶ月に1回エアコンの掃除を行う	
		4ヶ月に1回照明器具の掃除を行う	
		室内温度の均一化をはかりエアコンの電気使用量を減らす	
		設備の定期点検と予防保全の実施する	
		節電の見回りを行う (エアコン稼働時のドアの開けっ放し、不要な照明の付けっぱなしなど)	
		電気使用量データの見える化をし、社内で情報を共有する	
	ガソリン使用量の削減	定期点検（タイヤ空気圧・オイル交換）を実施する	
		車両記録に、走行距離と給油量を記入し、燃費実績確認による意識付けをする	
		エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止など）を励行する	
		納期遅延を減らし、不要な持ち込み納品をしない	
	LPG使用量の削減	給湯器の使用期間を設定し不要な時期の使用を削減する	
		POPを作成し削減の意識づけを行う	
廃棄物排出量削減、材料の歩留まりの向上に関するもの	廃棄物の削減	3S（整理・整頓・清掃）活動を推進する	
		加工ミスによるロスの低減に努める	
		製品の回収に繋がるクレームの発生を撲滅するため製品の品質管理に努める	
		廃棄物のリサイクル移行を検討する	
		廃棄物の処分先を定期的に、直接、確認する	
	再資源化の推進	廃棄物と有価物の分別をし可能な限り有価物で排出する	
	梱包資材の削減	梱包方法は決められたルールを守り、余計な梱包資材を使用しない	
		緩衝材、段ボールを再利用する	
	グリーン調達に関するもの	グリーン購入の推進	調達総量の削減をするため、無駄な破損を発生させないようにPOPを掲示する
			毎月購入したグリーン購入品を掲示し、社内で情報を共有する

5. 環境経営計画 本社 (2/2)

		活動内容
水使用量削減に関するもの	上水使用量の削減	定期的に社員全員へ節水の呼びかけを実施し社員における日常の節水意識向上を目指す
		毎日の水使用量をメーターにてチェックし使用量を確認・記録・周知する
化学物質使用量削減に関するもの	化学物質使用量の抑制及び管理	社内にて使用する化学物質のその種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録、管理する
		社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する
		入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する
		洗浄薬品などは、交換頻度を見直しを行い、使用量の削減に取り組む
		使用する化学物質についてリスクアセスメントを実施する
その他の環境活動に関するもの	環境コミュニケーション	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行う
	社会貢献	環境に関連する表彰制度を実施する
		会社周辺を定期的に清掃する
		ペットボトルキャップの回収を定期的に行い、寄付する(資源の再利用を行う)
		NGS活動をする。(NISCO Green Supportの略。緑化に関連する募金等を行う)
人材育成	多能工技術者の育成	スキルマップによるスキル見える化をする
		他の業務に触れる機会を作る
		外部講習等を利用しスキルの習得をする

5. 環境経営計画 NISCO熊本

		活動内容
二酸化炭素排出削減に関するもの	電力使用量の削減	空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）を徹底する（作業室は除く）
		使用していない部屋の蛍光灯や空調を停止する
		夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着（ウォームビズ）など 服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑える
		3ヶ月に1回エアコンと照明器具の掃除を行う
		設備の定期点検と予防保全の実施をする
		デマンド監視を実施する
	ガソリン使用量の削減	定期点検（タイヤ空気圧・オイル交換）を実施する
		車両記録に、走行距離と給油量を記入し、燃費実績確認による意識付けをする
		エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、 駐停車中のエンジン停止など）を励行する
		納期遅延を減らし、不要な持ち込み納品をしない
廃棄物排出量削減、 材料の歩留まりの 向上に関するもの	廃棄物の削減	打合せや会議の資料などについては、ホワイトボードやプロジェクターなどの 利用により、ペーパーレス化に取り組む
		マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行う
		従業員などにマイバッグ運動を呼びかける
		3S（整理・整頓・清掃）活動を実施する
		加工ミスによるロスの低減に努める
	廃棄物の処分先を定期的に、直接、確認する（年一回）	
再資源化の推進	分別廃棄の徹底を行い、廃棄物を資源化できるようにする	
水使用量削減に関する もの	水使用量の削減	浄化槽の適切な維持管理を実施する
		節水を促す啓発ポスターを制作し水場に掲示し、手洗い時、洗い物においては、 日常的に節水を励行する
		蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置する
化学物質使用量削減に 関するもの	化学物質使用量の抑制 及び管理	社内にて使用する化学物質の種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、 保管場所等を経時的に把握し、記録、管理する
		社内にて使用する化学物質のSDS最新版を年1回入手し、それを管理する
		入手したSDS最新版のコピーを、その化学物質の使用場所に設置する

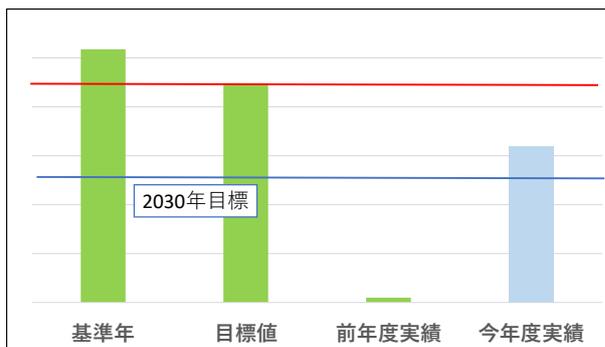
「グリーン購入の推進」、「環境コミュニケーション」、「人材育成」は本社管理にて実施。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ CO2排出量の削減(総量評価) 単位：kg-CO2)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

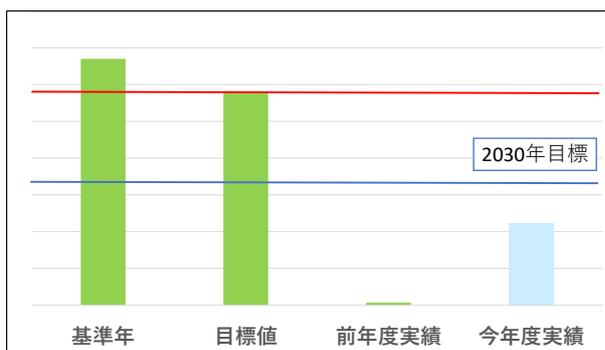
基準年	103552
目標値(-13.4%)	89676
前年度実績値	1998
今年度実績値	63953



■ CO2排出量の削減(原単位評価) 単位：(kg-CO2)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	133.98
目標値(-13.4%)	116.02
前年度実績値	1.40
実績値	44.62



評価

本社の電力の再エネ100%使用により達成することはできた。
ただし、今後の削減率を考えると2030年の-50%目標を達成することができない可能性が高い。
NISCO熊本の再エネ化などCO2フリーの方策や、使用量の削減などさらに力を入れる必要がある。

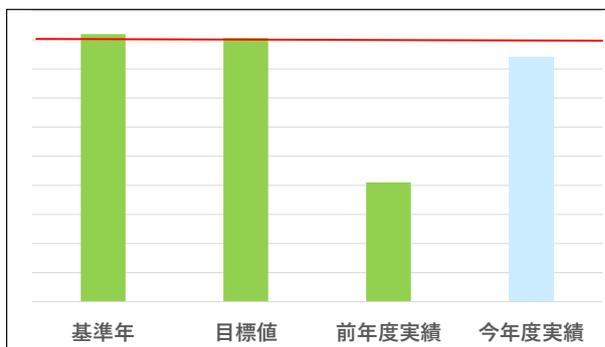
次年度の取組み

NISCO熊本の再エネ電力への移行など、CO2のオフセットや各使用量の削減に力を入れ、2030年に-50%と2050年にカーボンニュートラルの目標を達成できるように取り組んでいく。

■ 電力使用量の削減(原単位評価) 単位：(kWh)/百万円)

達成状況：○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	183.9
目標値(-1.41%)	181.3
前年度実績値	82.0
実績値	168.3



評価

期の後半から受注増による電気使用量の増加があったが、その分、売上も上がったので問題なく達成できた。
NISCO熊本では活動が開始したばかりなので、今後、削減が期待できる。

次年度の取組み

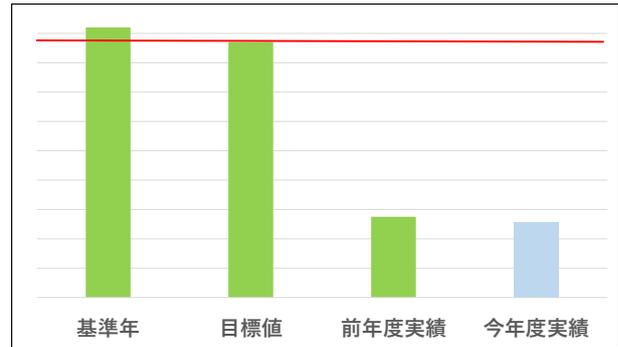
今後はNISCO熊本での削減がカギになってくる、本社の経験を活かしてNISCO熊本での削減が達成できるように拠点間の連携を取っていく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ ガソリン使用量の削減(原単位評価 単位：(ℓ)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	1.84
目標値(-5.23%)	1.74
前年度実績値	0.55
今年度実績値	0.51



評価

不要な外出がしっかりと削減されているため必要な外出だけになり使用量も抑えられている。
NISCO熊本では使用用途が基本的には製品運搬に限られるので、問題なく達成できている。

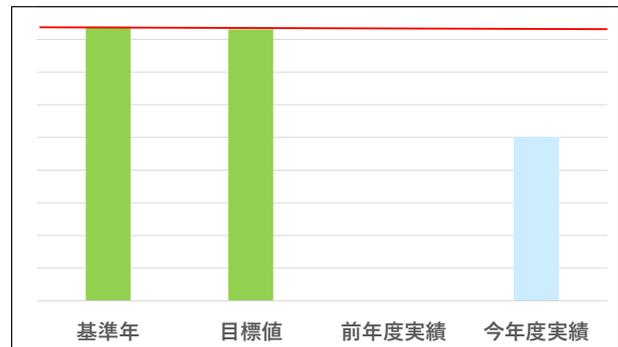
次年度の取組み

来期も不要な外出の削減を徹底し、運搬回数削減の方法を模索し使用量の削減を目指していく。

■ LPG使用量の削減(総量評価 単位：kg)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	419.59
目標値(-1%)	415.39
前年度実績値	—
実績値	251.3



評価

使用用途が限られているため、問題なく削減ができた。
ただ、使用用途が限られているからこそ今後の大幅な削減が難しくなってくる。今後は別角度からの削減方法を検討する。

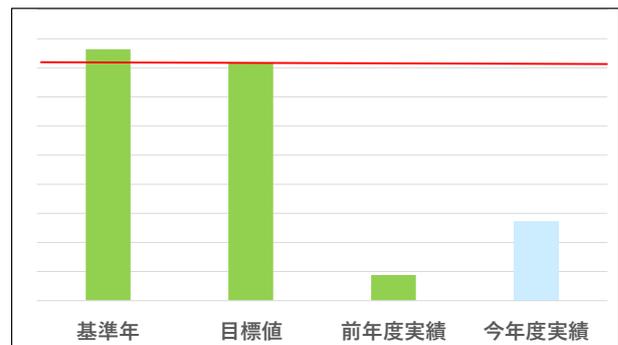
次年度の取組み

現在の活動は継続し、新しい削減方法を検討し今後に備えていく。

■ 事業系一般廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況:○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	4.32
目標値(-4.29%)	4.09
前年度実績値	0.44
実績値	1.36



評価

本社はリサイクル化が進んでおり問題なく削減が進んでいるが、NISCO熊本では入荷する荷物が増え段ボールの廃棄がかなり増えてきている。今は本社の削減量で相殺できているが今後はNISCO熊本での段ボール廃棄量が今後の課題になる。

次年度の取組み

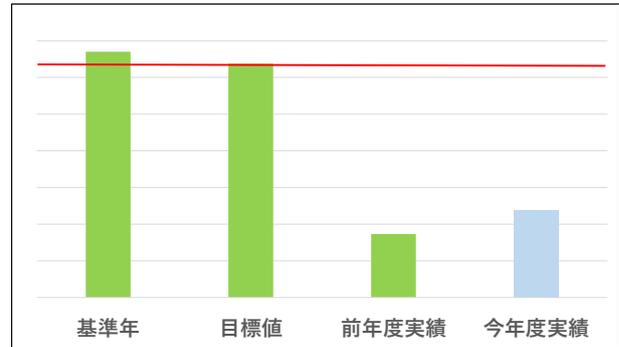
本社は継続して分別によるリサイクルを進めていき、NISCO熊本では段ボールのリサイクル化もしくは再利用での検討を進めてもらい重量の削減を進めていく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ 産業廃棄物の削減(原単位評価 単位：(kg)/百万円)

達成状況：○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	13.40
目標値(-4.83%)	12.75
前年度実績値	3.46
実績値	4.78



評価

廃棄量自体が大幅に削減されてきており、問題なく達成できている。

NISCO熊本においては廃棄量が増えてきているため、今後削減に向けた動きを進めてもらう必要がある。

次年度の取組み

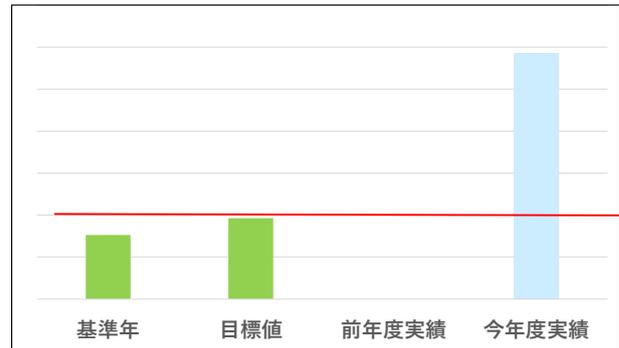
有価物回収の品目を増やすなど、リサイクル化を進め廃棄量を減らす動きをしていく。

それと同時に再利用可能なものが無いか確認し、再利用を促していく。

■ 再資源化の推進(総量評価 単位：%)

達成状況：○ 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	7.64
目標値(+2%)	9.64
前年度実績値	—
今年度実績値	29.3



評価

本社はリサイクル化がかなり進んでいるため、数値を確保できた。その反面、NISCO熊本ではリサイクル化がこれからのため、数値的にはまだまだ低い状態である。今後、リサイクル化が必須となる。

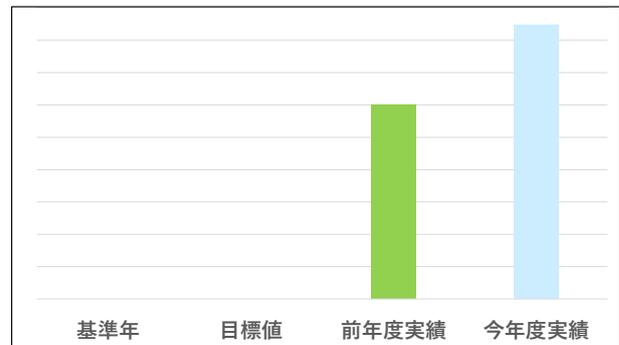
次年度の取組み

NISCO熊本においてリサイクル化を進め、割合の確保を進める。すぐに取り組みの内容をピックアップし早急に開始する。

■ 上水使用量の削減(総量評価 単位：m³)

達成状況：— 凡例：○(達成) ×(未達成) - (非該当)

基準年	—
目標値	—
前年度実績値	300.0
実績値	424.0



評価

今期はNISCO熊本が実績把握だったため問題なし。本社単体では目標を達成している。来期より削減を開始する。

次年度の取組み

NISCO熊本では本社の取組みを取り込んで削減に向けた動きを開始する。

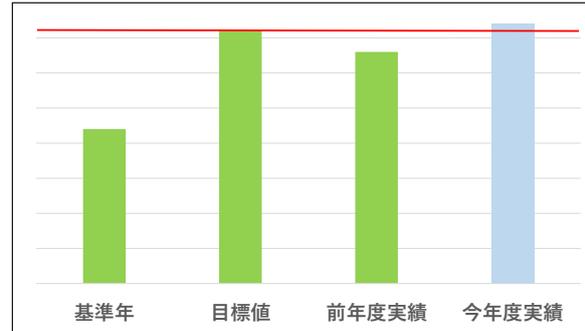
意識面と物理面の両方からアプローチをし削減していく。

6. 環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容

■ グリーン購入の推進(総量評価 単位：%)

達成状況：○ 凡例：○ (達成) × (未達成) - (非該当)

基準年	22
目標値(165%)	36
前年度実績値	33
実績値	37



評価

今期は、後半で著しくパフォーマンスを落としてしまい、大幅に数値が落ちてしまいました。アプローチ方法の変更等を行い、その結果最後の月でリカバリーでき、目標を達成する事ができました。

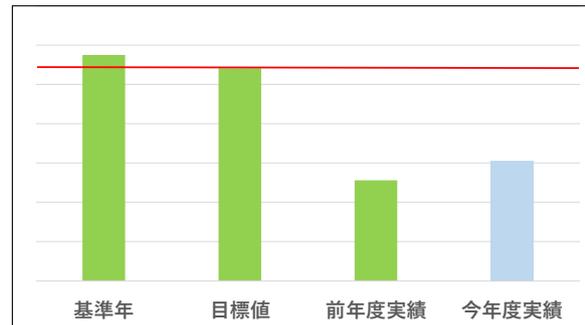
次年度の取組み

次年度は、みんなが物を大事に使用し、無駄な購入を抑えるような取組みを促進していきたいと思います。NISCO熊本への展開をもっと進めていきたいと思います。

■ 梱包資材の削減(原単位評価 単位：(¥)/百万円)

達成状況：○ 凡例：○ (達成) × (未達成) - (非該当)

基準年	1150
目標値(-6%)	1082
前年度実績値	512
今年度実績値	611



評価

梱包資材の単価が上昇・新規製品による梱包指定等がありましたが、目標を達成することが出来ました。物量が増える中、梱包資材の再利用、節約ができています。

次年度の取組み

資材変更ができる可能性・再利用・節約をリサーチし取組み、次年度でも目標達成できるように梱包方法の維持と更なる改善を図りたいと思います。

■ 化学物質の適正管理

達成状況：○ 凡例：○ (達成) × (未達成) - (非該当)

基準年	—
目標値	0
前年度実績値	0
実績値	0

評価

薬品による事故の報告もなく適正に使用されている。無駄な使用も減っており今後も継続していく。

次年度の取組み

リスクアセスメントの実施、事故防止はもちろんのこと、使用量のさらなる削減を検討していきます。

■ 人材育成

達成状況：○ 凡例：○ (達成) × (未達成) - (非該当)

基準年	—
目標値	1
前年度実績値	1
実績値	1

評価

講習参加に関しては、前年度に比べ増えてきた。今後も各自のスキルアップの環境を整えていく。

他の業務を学ぶために、各部署と連携し環境を整備し教育体制を整えていく。

7. 環境関連法規制の遵守状況

1. 廃棄物、リサイクル

関連法規見直し日 2024年6月15日

遵守評価日 2024年8月17日

【評価】 遵守：○、不遵守：×

廃棄物処理法	条項	実施状況	評価		
			本社	NISCO熊本	
一般廃棄物	一般廃棄物（又は一廃）委託基準を遵守しているか	6条の2	契約書あり	○	○
産業廃棄物	産業廃棄物（又は産廃）委託基準を遵守しているか	12条	契約書あり	○	○
特別管理産業廃棄物	特別管理産業廃棄物（又は特管物）委託基準を遵守しているか	〃	必要時に契約書の締結を実施	○	○
	委託品目が許可されているか	〃	許可されている	○	○
マニフェスト	B2票、D票は90日以内に、E票は180日以内に返っているか	12条の3	戻ってきている	○	○
	マニフェストを5年間保管しているか	〃	保管している	○	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	〃	提出している	○	○
保管	産業廃棄物の保管基準が遵守されているか	12条2項	種類、管理者名、保管量を表示している 飛散、流出、悪臭が無い様に保管している	○	○
	特別管理産業廃棄物の保管基準が遵守されているか	12条の2	廃棄時には保管基準を遵守している	○	○
資源有効利用促進法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
廃パソコン、携帯電話の回収をメーカーに依頼したか	5条	専門業者に依頼。リサイクル証明書あり	○	—	
プラスチック資源循環促進法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
プラスチック使用製品、産業廃棄物等の排出の抑制・再資源化等をしているか	4条	エコアクション21で取り組んでいる	○	○	
自動車リサイクル法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
自動車リサイクル券があるか	-	車検証内にあり	○	○	
廃車時に自動車引取業者に渡したか	8条	期間中廃棄なし	○	○	
家電リサイクル法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
家電を廃棄するときに料金を支払い、リサイクル業者に渡したか（家電リサイクル券があるか）	6条	期間中廃棄なし	○	○	

2. 公害（大気関係）

自動車NOx・PM法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本
ディーゼル車はNOx・PM対応車か（車検証で確認する）	12条	車検証で確認済	○	—

3. 温暖化、化学物質、関連法規

フロン排出抑制法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
業務用エアコン、冷暖機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか	19条	廃棄なし	○	○	
フロンマニフェストを3年間保管しているか	20条の2	廃棄なし	○	○	
室外機及び室内機の点検	16条	簡易点検実施済	○	○	
グリーン購入法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
グリーン購入法購入に積極的に取り組んでいるか	5条	エコアクション21で取り組んでいる	○	○	
グリーン購入比率、又は購入件数の目標を設定し取り組んでいるか	8条	エコアクション21で取り組んでいる	○	○	
道路運送車両法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
自動車の使用者	定期点検を行っているか	48条	実施している	○	○
	点検整備記録を車両に備えているか	48条	備えている	○	○
労働安全衛生法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
リスクアセスメントを実施しているか	57条の3	エコアクション21で取り組んでいる	○	○	
浄化槽法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
保守点検及び清掃を実施しているか	10条	実施済み	—	○	
公的機関による検査を実施しているか	11条	2024年12月実施予定	—	○	

4. その他の環境関連法

埼玉県生活環境保全条例	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
アイドリング	アイドリングストップを行っているか	40条	行っている	○	—
戸田市生活環境保全条例	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
廃棄物	廃棄物の処理その他の公害を防止	5条	行っている	○	—
悪臭防止法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
悪臭	工場及び事業場から発生する悪臭の規制	7条	社員による敷地境界線での臭気確認実施。近隣からの苦情も無し。	○	○
騒音規制法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
騒音	規制基準の遵守義務	5条	未測定(但し、近隣からの苦情は無し)	○	○
	特定施設設置の届出	6条	特定施設なし	○	○
振動規制法	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
振動	規制基準の遵守義務	5条	未測定(但し、近隣からの苦情は無し)	○	○
	特定施設設置の届出	6条	特定施設なし	○	○
熊本県生活環境の保全等に関する条例	条項	実施状況	本社	NISCO熊本	
騒音等に関する規制	規制基準の遵守	43条	未測定(但し、近隣からの苦情は無し)	—	○
	特定施設設置の届出	44条	対象施設：空気圧縮機 届出提出済み	—	○
現地確認	産業廃棄物処理業者の処理状況の監視	85条	現地確認10月実施予定	—	○

環境管理責任者は毎年8月中に遵法性をチェックして、本表に記入する。

環境法規等の逸脱はありませんでした。また、過去5年間にわたって、違反や告訴も1件も発生しておりません。

使用停止後3年間保管

8. 安全活動

■ 緊急事態の対応及び訓練状況

各拠点にて消防訓練を実施しました。

本社は毎年恒例となっているので、動きはだい良くなっています。

○本社 火災発生時訓練



○ONISCO熊本 火災発生時訓練



9. その他環境活動

■ 会社周辺の道の清掃を月一回、社員全員で行っています。



9. その他環境活動

■ ペットボトルキャップ回収と寄付を行いました。 (2024年10月9日までの回収分)

📄 寄付先の実績レポート

キャップ実績レポート		
日信商工株式会社 様		
このたびは「キャップの貯金箱推進ネットワーク」の活動にご協力頂きましてありがとうございます。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。		
■ 今回のご提供キャップ (2024/10/10 分) (回収分)		
重量	個数 (概算)	預かり寄付金
13.80 Kg	5,934 個	138 円
ワクチン種類	一人分の価格	合計
ポリオ (小児麻痺)	約 20 円	約 6.9 人分

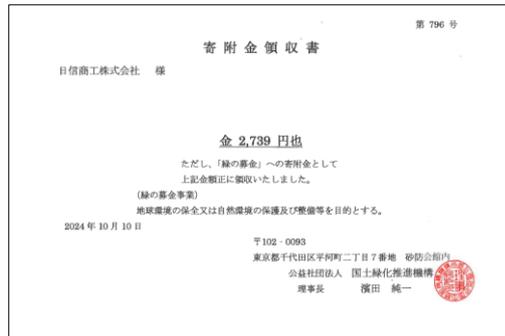
今年の寄付数量は約5934個（約13.8kg）でした。これは約6.9人分のポリオワクチンと同等となります。当社では5回目の寄付となり、累計約23000個（約31人分）の寄付をすることができました。

小さな事かもしれませんが、こういった活動がこれから大きくなっていくと信じて続けていきたいと思っております。

■ NSG (NISCO Green Support) 活動報告

不用品回収による寄付の「キモチと。」へ社内で回収した不用品を寄付しました。

社内で集めた募金を「緑の募金」へ寄付しました。



金額は大きくないかもしれませんが、今後も継続してコツコツ積み重ねていきたいと思っております！

■ 多様性推進の一環として社会福祉法人へ業務を委託しています

当社では、多様性の推進にも目を向け、NISCO熊本工場の産業廃棄物の処理業務を社会福祉法人である環友会さんへ業務委託しております。

社会福祉法人での産業廃棄物処理業務は初耳で最初は驚きましたが、実地確認も実施し適正に処理されていることを確認しております。

自分たちでできないことに対しては、すでに取り組まれている企業・団体さんへの支援も視野に入れ活動を進めていきたいと考えております。



社会福祉法人環友会 就労継続支援A型事業所 e-ワーク

代表者による全体の評価と見直し

【環境経営方針】

今期は、各グループのメンバー・リーダーに若干の変更を行い、体制強化を打ち出してスタートしました。定期的なミーティング開催により、内容浸透が色濃く出て、当社HPへのグループ活動報告の掲載、社内掲示物での『現在地』の見える化等、数値的な結果論より各論での活動内容にメンバーの積極性が感じられ、一步前進した内容でした。また、年末開催のプレゼンテーション大会は、各グループ共にレベルが高く、しっかりと準備し、協議した内容で、今後の取組みに繋がるものと捉えます。しかしながら、前進部分と滞留部分とが鮮明で、特に、新規事業推進関連に関しては、方向性や取組方法を見直す必要性があります。テーマ設定をせずに進行しているもので、どこにクローズアップしたらよいか曖昧で、指示や代表者の意向等を明確に掲げていない事が影響しているものと考え、今期は目標設定・テーマを共有し、課題解決に向け取組みます。

【環境経営目標及び環境経営計画】

水使用量に関して、今期はNISCO熊本での実績把握を実施しており、来期より削減に取り組んでいく。その他に関しては目標値は達成出来ているが、組織拡大により更なる削減が求められることとなり、今後の更なる活動の活性化が必要となる。本社とNISCO熊本で連携し、削減に向けた取組みを加速してくれることを期待する。

【実施体制】

NISCO熊本での活動開始に伴い、新規設定を実施し活動を開始している。活動を重ね、全員が活動の重要性を理解し取り組んでもらえるように環境管理責任者はフォローをすること。また、本社においては、活動促進の一環で、一部変更し今後の活動に期待する。

代表取締役社長

関口 良平